

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

## 第170号

平成29年(2017)5月発行

### 発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

## 花めぐり

### カルミア

写真のカルミアというお花を知っていますか？

私は長いこと生きていますが、初めて見て、名前を聞いたお花です。ちょっと恥ずかしいですね。

このカルミアは、荏原一中の隣の歩道の脇に、5月中旬から6月中旬頃に咲きます。1.5メートルくらいの木が、16、7本点在しています。

花が咲く前は、目立たないただの木ですが、花が咲くと、別の木のように華やかに変身します。小さな可愛い紫色やうす桃色の花が咲いています。是非ご覧ください。

ツツジ科、北アメリカ及びキューバ原産。花の色は、ピンク・白・紫。葉は、グラヤノトキシンを含み有毒です。ご注意ください！

(中原共和町会・青木 富代)



力強い太鼓の演奏で桜まつり開始



園内では、出来立ての温かい食べ物に舌鼓を打つ親子など、祭りを楽しむ人たちの笑顔があふれていました。今年度のスタートにふさわしい、春の陽気に包まれた今年の桜まつり。主催者の皆様、お疲れさまでした。

今年も大盛況のうちに終了した「ムサコたけのこ祭り」。3000食分のたけのこ汁は、1時間半でなくなったそうです。(事務局)

調理する武蔵小山出身の和食料理人、笠原将弘さんは、今年も絶品の「たけのこ汁」を作る舞うために、前日から大多喜町に泊まり込んで準備し祭りに備えました。出来立て熱々の「たけのこ汁」にお客さんは、「採れたてなので竹の子がパリパリして美味い」と舌鼓を打っていました。今年も大盛況のうちに終了した「ムサコたけのこ祭り」。3000食分のたけのこ汁は、1時間半でなくなったそうです。(事務局)

▽荏原南公園桜まつり  
第45回「桜まつり」が、4月2日(日)に荏原南公園で行われました。この祭りは、荏原第一管内の小山5丁目町会、そして、荏原第二管内の小山6丁目町会、荏原5丁目町会、荏原6丁目町会、荏原7丁目町会、旗の台1丁目町会、荏原会の主催で開催されています。今年も、昨年の雨模様とは一転、朝から青空が広がるお天気のもと行われました。園内の桜はまだ5分咲ではありませんでしたが、春らしい陽気に誘われて、たくさんの人たちが賑わいました。

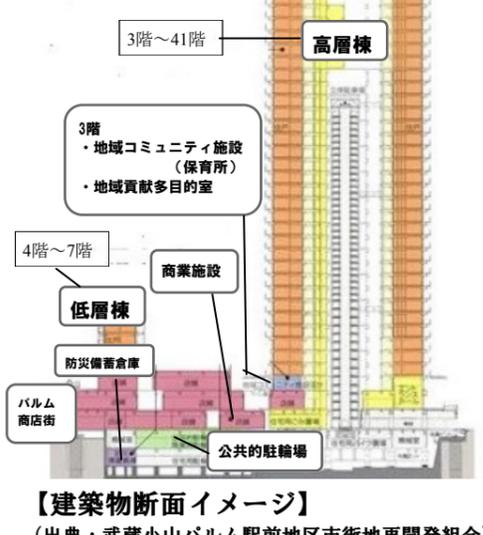
春、本番！  
人気イベント相次ぐ

▽ムサコたけのこ祭り  
武蔵小山の春の名物行事「ムサコたけのこ祭り」が、4月16日(日)に武蔵小山駅前広場ロータリーで開催されました。この行事は、江戸時代に荏原地区が竹の子の産地として有名だったことから、その歴史を今に受け継ぐイベントとして、武蔵小山商店街連合会が中心となって行っています。毎年祭りでは、採れたての竹の子を使った「たけのこ汁」が無料で振る舞われます。今年も、開催6回目にして初めて天気に恵まれ、日中の最高気温も25度を超す初夏の陽気。絶好の祭り日和に、朝9時頃から「たけのこ汁」を目当てに並ぶ大勢の人たちが賑わいました。材料の竹の子は、武蔵小山と千葉県大多喜町との交流により、大多喜町の名産である竹の子を使用して調理しています。さらに、大多喜町が所有する直径2メートルの鍋を借りて作る3000人分の「たけのこ汁」は圧巻です。調理する武蔵小山出身の和食料理人、笠原将弘さんは、今年も絶品の「たけのこ汁」を作る舞うために、前日から大多喜町に泊まり込んで準備し祭りに備えました。出来立て熱々の「たけのこ汁」にお客さんは、「採れたてなので竹の子がパリパリして美味い」と舌鼓を打っていました。今年も大盛況のうちに終了した「ムサコたけのこ祭り」。3000食分のたけのこ汁は、1時間半でなくなったそうです。(事務局)



3000人分のたけのこ汁を調理する笠原シェフ

武蔵小山の春の名物行事「ムサコたけのこ祭り」が、4月16日(日)に武蔵小山駅前広場ロータリーで開催されました。この行事は、江戸時代に荏原地区が竹の子の産地として有名だったことから、その歴史を今に受け継ぐイベントとして、武蔵小山商店街連合会が中心となって行っています。毎年祭りでは、採れたての竹の子を使った「たけのこ汁」が無料で振る舞われます。今年も、開催6回目にして初めて天気に恵まれ、日中の最高気温も25度を超す初夏の陽気。絶好の祭り日和に、朝9時頃から「たけのこ汁」を目当てに並ぶ大勢の人たちが賑わいました。材料の竹の子は、武蔵小山と千葉県大多喜町との交流により、大多喜町の名産である竹の子を使用して調理しています。さらに、大多喜町が所有する直径2メートルの鍋を借りて作る3000人分の「たけのこ汁」は圧巻です。調理する武蔵小山出身の和食料理人、笠原将弘さんは、今年も絶品の「たけのこ汁」を作る舞うために、前日から大多喜町に泊まり込んで準備し祭りに備えました。出来立て熱々の「たけのこ汁」にお客さんは、「採れたてなので竹の子がパリパリして美味い」と舌鼓を打っていました。今年も大盛況のうちに終了した「ムサコたけのこ祭り」。3000食分のたけのこ汁は、1時間半でなくなったそうです。(事務局)



前回は「武蔵小山駅前地区」の「駅前再開発」についてお伝えしている「駅前再開発」。2回目の今号は、現在工事が進行している「武蔵小山パルク駅前地区」の詳細についてお伝えします。▽武蔵小山パルク駅前地区  
▽当地区は、武蔵小山駅前広場と一体的に利用できる広場を整備し、地域の活動拠点となる空間を創出します。また、地域の回遊性を向上させる緑豊かなおおいのある

### ◎シリーズ◎ 駅前再開発

◎地域の活動拠点となる空間と緑豊かなおおいのある歩行者空間を創出

②「賑わいとやすらぎが調和するまちへ」

歩行者空間を創出します。▽計画の詳細  
・駅前一般利用可能な公共的駐輪場  
・防災性の向上を目的とする広場整備  
・歩行者優先道路(幅員6メートル)  
・既存の生活動線を継承する歩行者通路  
・パルク商店街との連続性を確保した街並み

### 街角ウォッチング

～かわら割道場 東京支部～

荏原2丁目にある屋根を専門に扱う(株)石川商店。ここは、屋根工事だけではなく、日本文化でもある「瓦」を広めるために「かわら割道場」も開いています。「瓦割り」というと、本来空手家にしかできないと思われがちですが、「女性や子どもでも楽しめる」のが、石川商店の「かわら割道場」です。「瓦割り」は、エンターテインメント性はもちろん、ストレス発散という効果にも注目が集まっています。割るという、シンプルで新鮮で、日常離れた爽快感はたまりません！道場で使用しているのは、空手の経験が無くても本能のままに割れるように作られた、かわら割道場公式の瓦「鉄拳瓦」です。材質は、通常の瓦と同様1200度で焼かれた硬い瓦ですが、子どもからお年寄りまで思う存分割って頂けるようになっております。製造規格は厳密に規定しており、割れやすさを一定に保っています。個人がただ割って楽しいだけでなく、割れた枚数で優劣がつくグループ競技としても楽しんでいただけます。ストレス発散はもちろん、新しい刺激が欲しい方や、気合を入れたい時、イベントの余興、面白ムービーの撮影、皆で何かに挑戦したい！という方にピッタリです。楽しく日本文化に触れ、思い切り瓦を割っていただくことで、皆さまに笑顔になっていただければ幸いです。

場所：(株)石川商店「かわら割道場」  
品川区荏原2-2-3  
料金：1枚 大人500円・子ども500円  
(枚数によって料金が変わります)

(荏原2丁目) (株)石川商店 石川弘樹



※次回は「武蔵小山駅前通り地区」の詳細をお伝えします。「駅前再開発」について、皆さまが知りたいことなどご意見がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。(事務局)

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は6月20日(火)発行の予定です。